

業 種	鉄道・軌道
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	「週間安全報告書」の作成・報告・活用
取組の狙い	定期的に開催している会議体及び「週間安全報告書」を活用し、現場と一体となって事故、トラブル原因分析及び対策立案を迅速にするとともに、情報の共有化、課題認識の共通化を図り全社員の安全意識の向上を図る。
具体的内容	<p>1. 安全管理体制を構築するための一環として平成18年12月から「週間安全報告書」による事故等の原因分析、事故等の情報の共有化などの取組を開始した。</p> <p>2. 毎週月曜日に前週の事故、トラブル（人的ミス、施設故障など）について運輸企画課が事故等の概要をとりまとめた「週間安全報告書」原案を作成し、当該トラブル発生箇所の所管課長が安全統括管理者、運輸部及び技術部の管理職が出席する「鉄道連絡会議」に報告し、その報告に基づき、原因分析及び再発防止対策を検討し、その結果を記載した最終的な「週間安全報告書」を作成する。ここで決定された対策については、早急を実施するとともに、毎月、現場長が中心となって開催する「現場部会」に報告し、現場職員にも確実に伝えている。</p> <p>※「週間安全報告書」原案の記載事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生日時      ・発生場所      ・事故、トラブルの種別</li> <li>・関係者      ・事故、トラブルの概要      ・原因</li> <li>・対策（事故、トラブル発生時の対策）</li> </ul> <p>※具体的な事例</p> <p>平成23年1月17日と同月20日の両日、車両の扉の下部レール部分にパチンコ玉が挟まり、扉が完全に閉まらない状態となった。車掌と駅係員が協力してパチンコ玉を撤去し、扉を閉めて約4分遅れで駅を出発した。このトラブルを受けて、直ちに対策が検討され、各駅ホームにパチンコ玉等を取除くためのハンマーとドライバーを配備した。</p> <div data-bbox="1002 1155 1409 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>駅ホームに配備したハンマーとドライバー</p>  </div> <p>3. 上記2の事象のうち、安全確保に係る影響度が高いものについては、随時、社長及び専務に報告し、再発防止対策等について指示を受けるとともに、常勤役員や関係者に対し同報告書の写しを配布し情報を共有する。</p> <p>4. 四半期毎に、「週間安全報告書」の事項を部内原因、部外原因に分類して、安全推進委員会幹事会（幹事長：安全統括管理者）、安全推進委員会（委員長：社長）に改めて報告する。</p>
取組の効果	<p>1. 鉄道連絡会議において一元的に事故、トラブル原因分析等を行うことで、対策立案・実施が早くなった。</p> <p>2. 事故、トラブルに対する情報を共有することにより、役職員間で共通認識をもつことができた。</p>
事業者名	大阪府都市開発株式会社 運輸部運輸企画課長 内田 (連絡先：0725-57-3002)